

9月28日 月京（月京会館にて）

<主なやりとりと対応状況>

* 対応状況は⇒です。

【町役場の建替えについて】

○ 新庁舎の整備において、町民負担（借金）が16.5億円ということであるが、どのように町民が負担するのか。

⇒ 町民の皆様からお金を徴収するのではなく、町が借金をします。一方で、その借金の返済には、皆様に納めていただく税金を使わせていただくこととなるため、借金の返済が多くなると、他の行政サービスを減らすことにもつながりかねないので、このような表現を使っています。

【町内の課題など】

○ 私が利用していたごみ集積場所は、長谷川の河川敷（官地）にあったが、隣接する住民が改めて境界測量を行った結果、そのごみ集積場所を自分の所有地であると主張して、そのごみ集積場所が利用できなくなった。町にも相談しているが何とかならないか。

⇒ 担当課に事情を確認したところ、かなり古くから土地の境界は現状のままです。ごみ集積場については、代わりの場所を確保していますので、ご理解のほどをよろしくお願いいたします。

○ バス運賃への補助制度を創設してほしい。昨今、物価が高騰しているが年金は据え置かれたままであり、生活が苦しい。また、運転免許証の返納により交通手段はバスのみであり、たいへんな思いをしている。

⇒ 公共交通の不便地域が増えてきています。町でも富士見地区（虫窪、黒岩、西久保）のバス路線の維持のために、バス事業者に対して補助金を交付しています。そのバス路線も減便が検討されていますので、バス運賃の補助制度を設けることは、あまり効果が見込めないと考えています。そこで、タクシーを活用した支援を検討しています。西小磯東区において既に運用していますので、今後さらに運用範囲を広げていきたいと考えています。

○ 先般の大雨で国府小学校体育館が避難所として開設されたが、その前に指定緊急避難所である地域会館に避難された方にそのことを伝えても、地域会館は畳の部屋とエアコンがあるため、なかなか国府小学校に移っていただけなかったと聞いている。小学校体育館などの指定避難所にも、指定緊急避難所である地域会館と同程度の環境を整える必要があると考えており、整備してほしいと思っている。

⇒ 既に指定緊急避難所である地域会館に避難されている方が、小学校体育館などの指定避難所に移っていただくことは現実的ではないという意見もあり、臨機応変に対応する必要があるということが、町役場内の検討状況です。町民の皆様が避難するに当たり選択肢が増えることは良いことであると考えますが、その分、皆様の行動が複雑になりますので、適切に情報を発信することも必要であると考えています。

○ 先般の大雨による本町の被害は、どのような状況であったのか。

⇒ 幸いに、それほど大きな被害は発生しませんでした。国府新宿の森下地区や山王町の三沢橋付近で一部冠水があり、数件の床下浸水がありました。がけ崩れは小さいものを含めて50か所程度と報告を受けています。がけ崩れにより道路が寸断された箇所もありましたが、2～3日で復旧しています。

○ 国府小学校前も一時的に冠水する状況であった。

⇒ 本町では、雨水を排水する公共下水道の雨水管整備の進捗率が35%程度と他市町村に比べ遅れています。今後、整備を促進することで、道路の一時的な冠水なども解消されと考えています。

○ 道路の冠水については、透水性舗装をすることで解消できるのではないかと。

⇒ 透水性にすることである程度解消できると思いますが、通常のアスファルトと比べると価格が高く強度が低いことから、あまり普及していません。

○ 葛川の溢水については、二宮町の塩見橋付近から雨水を地下を通して、海へ流してはどうか。

⇒ かつては、二宮町の県道下に放水路を整備することを唱える方もいましたが、これには膨大な費用が掛かりますので、堤防を整備する方が有効であると考えています。

○ 10年ぐらい前に中丸橋付近の堤防が崩れたことがあるが、堤防の耐震性は確保されているのか。

⇒ 中丸橋付近の堤防が崩れた原因は、地震ではなく大雨により河床が削られたことによるものであったと記憶しています。堤防を整備する際には、耐震性も考慮したうえで整備していると聞いている。

○ 公共下水道工事終了後の舗装について、マンホールの蓋と道路のアスファルトとの高低差がある（マンホールの蓋が出っ張っている）箇所がある。舗装するに当たり、基準のようなものはあるのか。

⇒ 公共下水道工事終了後には工事の完成検査を実施しています。舗装し直す場合には、マンホールの蓋と道路がフラットになるように舗装すると思います。現場は私も確認し、下水道課が対応しました。

以上